



令和 7 年 8 月 1 日

報道関係 各位

名古屋市立大学教育研究部教務企画課

課長 金森 伸裕 電話：052-872-5801

大学水準の調査・研究・発表活動が体験できる
名古屋市立大学×名古屋市教育委員会 高大連携企画
『NCU グレイド・スキップ・チャレンジ 2025』取材のお願い

名古屋市立大学では、名古屋市教育委員会との高大連携事業の一環として、令和元年度より「NCU グレイド・スキップ・チャレンジ」を開講しています。

この企画は、市立高校の生徒が夏季休業期間の 4 日間、高校から大学に飛び級 (Grade Skip)して、本学経済学部・人文社会学部・芸術工学部・医学部保健医療学科看護学専攻・医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻・データサイエンス学部の学びや研究活動を体験するものです。

講座では、実際に大学水準の調査・研究活動を行うだけでなく、最終日には調査研究活動を行った成果の発表会も開催しており、高大連携の一環として探求学習を実践している点が、全国的にも珍しい取り組みとして、各教育機関よりご好評をいただいております。

令和 7 年度は、名古屋市立高校の 8 校（菊里、向陽、桜台、緑、山田、名東、工芸、中央）から合計 39 名の生徒が参加予定です。

この企画を広く知っていただきたくご案内しますとともに、高校生が関心を持つテーマの調査研究活動にいきいきと取り組み、発表する姿を是非ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 場 所：名古屋市立大学 滝子キャンパス、桜山キャンパス、
北千種キャンパス、葵キャンパス

※講座によっては学外で調査活動等を行う場合もあります。場所の詳細につきましては、取材のお申し込みをいただいた後にお伝えいたします。

- 2 講座・日程等：別紙「講座一覧」のとおり。

- 3 取材の申込：別添「取材申込書」をメールもしくはファックスにてお送りください。
※取材希望日の 2 日前（土日祝日を除く）までにご連絡をお願いいたします。

4 問い合わせ先：名古屋市立大学教育研究部教務企画課 鴨下

TEL : 052-872-5807 / MAIL : k_kikaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

宛先：名古屋市立大学教育研究部教務企画課【FAX：052-872-1531】

日付：令和7年 月 日

NCU グレイド・スキップ・チャレンジ2025 取材申込書

貴社名

TEL : — — (※当日連絡が取れる番号)

FAX : — —

取材希望日と講座名 月 日の 講座

※当日取材される（予定でも可）方の氏名と、該当する箇所に○印をご記入ください。

ふりがな 取材者 氏名	
1.	記者 カメラ その他
2.	記者 カメラ その他
3.	記者 カメラ その他
4.	記者 カメラ その他
備考	

2025年度 グレイド・スキップ・チャレンジ 講座一覧

No	講座タイトル	学部	担当教員	講座概要	日程
1	経常収支ってどのようにきまるの? 2期間モデルを学んで理解しよう!	経済学部	岡野衛士 教授	ミクロ経済学的基礎を伴う古典派の所得分配理論を応用した2期間モデルを用いて経常収支の決定について理解する。	8月21日（木）、22日（金）
2	エシカル消費への心理学的アプローチ	人文社会学部	久保田健市 教授	SDGsの12番目は「つくる責任 つかう責任」です。これまでの大量生産・大量消費から、持続可能な生産・消費形態への転換が求められています。この講座では、エシカル消費について学びつつ、心理学の観点から、普及啓発の取り組みに対する効果検証の方法について学びます。	8月19日（火）、20日（水）
3	地域コミュニティについて考えよう	人文社会学部	三浦哲司 准教授	身近な地域コミュニティとしての自治会・町内会は今、さまざまな困難に直面しています。講座を通じて地域コミュニティの現実を学び、どうすればよりよくなるかを考えていきます。	8月20日（水）21日（木）。 また、22日（金）午前は名古屋市役所本庁舎にてプレゼンを予定。
4	載せて揺らして構造物の形と力の関係を学ぼう	芸術工学部	木村俊明 准教授	力学の観点から建築物の構造体の形と力の関係を学んだあと、アイス棒を使ってブリッジとタワーを設計・製作します。その後、載荷実験や振動実験を行って挙動を観察し、分析をしてみます。	8月21日（木）、22日（金）
5	“自分らしい生き方”を語り合うカードゲームとインタビュー	医学部（看護学専攻）	金子典代 教授 井上高博 准教授 江啓発 准教授	今後の多死社会を迎える日本では、「どのように生き、どのように最期を迎えるか」という問いが、すべての世代にとって避けられない課題となっています。人生の最終段階を前向きに考えるための取り組みであるACP（アドバンス・ケア・プランニング）は、高齢者だけでなく、若い世代にとっても大切なテーマです。本講座では、未来を生きる高校生が“自分らしい生き方”を考える入り口として、「もしバナゲーム」を用いた対話を体験します。ゲームを通して、自分の価値観や命への向き合い方を見つめ直し、家族や友人など身近な人との対話へとつなげていきます。 インタビューや対話の記録をもとにしたレポートや発表を行い、若い世代からの新しい視点として地域や社会に発信することを目指しましょう。	8月20日（水）、21日（木）
6	近年の子どもの健康の特徴から将来の課題を考えよう	医学部（リハビリテーション学専攻）	池田崇 教授 塩津裕康 講師	子どもの体力・発達の近年の特徴を踏まえて、過去に子どもであった高齢者の現在の体力レベルや転倒・骨折の繋がりを考える。過去と比較して、現在の子どもの体力水準が低下するとともに、発達障碍の可能性のある児童数が多くなっている。将来の健康増進に向けて、学術文献を通じて予測される課題について、解決策の提案を行う。（SDGs 3）	8月21日（木）、22日（金）
7	ソフトウェア検証技術について学ぼう	データサイエンス学部	上出哲広 教授	ソフトウェア検証技術の一種であるモデル検査技術について学びます。ソフトウェア検証技術はプログラムのバグを取るための技術です。本講座では、実際にモデル検査器を使用してプログラムのバグを見つける方法を学びます。また、モデル検査器を使用して知能パズル・ゲームの正当性や解の存在などを検証します。	8月19日（火）、20日（水）

※上記日程の他に参加生徒が研究成果の発表を行う、合同発表会を9月20日（土）に開催致します。